

# 札幌飛行場(丘珠空港)の概要と沿革

## 概要

区 分	現 況	
設 置 管 理 者・種 別	防衛大臣・共用空港	
空 港 の 位 置	標点位置	北緯 43 度 7 分 3 秒 東経 141 度 22 分 53 秒 標高 8m
	行政区域	札幌市
空 港 面 積	総面積	103 万㎡(防衛省所管 90 万㎡、国土交通省所管 13 ㎡)
滑 走 路	長さ×幅	1,500m×45m
誘 導 路	長さ×幅	1,530m×18m
エ プ ロ ン	大型航空機用	5 バース 22 バース(小型機双発用 2、小型機単発用 16、回転翼機用 2)
	中型航空機用	
	小型航空機用	
駐 車 場	面積	14,067 ㎡
	収容台数	360 台
タ ー ミ ナ ル ビ ル	全面積	3,515 ㎡





## 沿革

- 昭和 17 年 9 月 : 旧陸軍航空隊が 229 万 m<sup>2</sup>の用地を買収して飛行場を設置
- 昭和 21 ~ 25 年 : 米軍空挺部隊等が演習場として使用
- 昭和 29 年 4 月 : 陸上自衛隊が移駐
- 昭和 33 年 12 月 3 日 : 防衛庁告示第 167 号により「札幌飛行場」となる
- 昭和 36 年 11 月 27 日 : 運輸省告示第 407 号により公共用施設として指定
- 昭和 36 年 12 月 10 日 : 上記告示に基づき、共用飛行場としての供用を開始
- 昭和 38 年 3 月 : タワー（飛行場管制）の運用開始
- 昭和 39 年 12 月 : 旅客ターミナルビル供用開始
- 昭和 42 年 11 月 : 滑走路延長（1,000m 1,400m）
- 昭和 49 年 12 月 : 道外定期路線を千歳へ完全移管
- 昭和 52 年 7 月 27 日 : 滑走路方位変更（15/33 14/32）
- 平成 3 年 8 月 : エプロン拡張 供用開始
- 平成 4 年 2 月 21 日 : 新旅客ターミナルビル供用開始
- 平成 13 年 6 月 : 滑走路延長等工事着手
- 平成 16 年 3 月 : 滑走路延長（1,400m 1,500m）、エプロン・駐車場拡張  
供用開始
- 平成 17 年 12 月 : エプロンに国内初となる乗降客用ロードヒーティング完成
- 平成 20 年 11 月 : ターミナルレーダー管制運用開始



丘珠空港ターミナルビル



札幌飛行場（丘珠空港）